

2013年

陽明文庫講座

〔主催〕科学研究費補助金(基盤研究(S))

「日本目録学の基盤確立と」

古典学研究支援ツールの拡充

―天皇家・公家文庫を中心に―

(研究代表者 東京大学史料編纂所 教授 田島公)

〔共催〕立命館大学

〔後援〕公益財団法人陽明文庫

京都府京都文化博物館

東京大学史料編纂所

会場 立命館大学

朱雀キャンパスホール

■事前申込制 ■定員／各回300名

■受講料／無料



2013年9月21日(土) 13:00~16:00

「陽明文庫所蔵『枕草子』と『御堂関白記』」

五味 文彦 放送大学 教授・東京大学 名誉教授

「陽明文庫所蔵の宸翰について」

島谷 弘幸 東京国立博物館 副館長

2013年10月6日(日) 13:00~16:00

「『御堂関白記』が世界記憶遺産に登録された意義」

名和 修 公益財団法人陽明文庫 理事・文庫長

「陽明文庫所蔵の断簡から」

尾上 陽介 東京大学史料編纂所 准教授

2013年11月17日(日) 13:00~16:00

「陽明文庫所蔵『撰関家旧記目録』の筆者は藤原忠実か」

湯山 賢一 奈良国立博物館 館長

「古代歌謡と和琴のお話―陽明文庫所蔵『琴歌譜』との縁―」

岩波 滋 元宮内庁式部職楽部首席楽長・日本大学芸術学部 非常勤講師

「近衛家伝襲の古代音楽資料について」

名和 修 公益財団法人陽明文庫 理事・文庫長

各回とも講演の最後に「総括討議」を行います。パネラーには、講演者の他、名和修陽明文庫長、立命館大学総長特別補佐の本郷真紹教授(第1回・第2回)、東京大学史料編纂所長の久留島典子(第1回)を迎え、司会は東京大学史料編纂所教授の田島公と同准教授尾上陽介が務めます。(予定)

いま世界にはばたく宮廷文化

「御堂関白記」ユネスコ・世界の記憶(Memory of the World)登録記念講座



【お問い合わせ・お申し込み先】

東京大学史料編纂所 基盤研究(S)プロジェクト室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

Fax: 03-5841-5956 Tel: 03-5841-5995 E-mail: youmei@hi.u-tokyo.ac.jp

お申し込み専用フォーム: <https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>

科研費
KAKENHI

お申し込みは裏面へ

2013年 陽明文庫講座

「御堂関白記」

ユネスコ・世界の記憶(Memory of the World)登録記念講座



いま世界にはばたく宮廷文化



開催日程 2013年 9月21日(土)、10月6日(日)
11月17日(日)

定員 各回300名 **締め切り** 各開催日の5日前

お問い合わせ先 東京大学史料編纂所 基盤研究(S)プロジェクト室

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
Fax:03-5841-5956 Tel:03-5841-5995(平日 10:00~17:00)
E-mail:youmei@hi.u-tokyo.ac.jp

●会場へのアクセス等については、下記連絡先までお願いいたします。
立命館大学社会連携課 電話 075-813-8166(平日 9:00~17:30)

※8月12日(月)~8月16日(金)の間、夏季休業につき、メールでのお問い合わせを含む受付業務を休止させていただきます。ご不便をおかけいたしました申し訳ございませんが、何卒ご了承下さいますようお願い申し上げます。

「陽明文庫」(管理者:名和修文庫長)とは、1938年(昭和13年)に当時の内閣総理大臣近衛文麿(近衛家29代当主)が、仁和寺の北西部に設立したものです。藤原道長自筆の日記である「御堂関白記」(国宝)、名筆の集大成である「大手鑑」(国宝)、美麗な唐紙に和漢朗詠集を書写した「倭漢抄」(国宝)等、五摂家の筆頭である近衛家が宮廷文化の中心として護り伝えてきた貴重な文書・典籍や宝物を収蔵しています。2012年4月より、「公益財団法人」となり、近衛家に伝来した歴史的又は美術的に重要な史料、古文書、典籍その他の物品を保存管理するとともに、これらの調査研究により学術上、社会教育上の効用に供し、わが国の歴史や美術の研究に資することを目的としています。

田島公を研究代表者とする東京大学史料編纂所の研究プロジェクトチームは、2007年度~2011年度科学研究費補助金(学術創成研究費)「目録学の構築と古典学の再生—天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明—」の一環として、同文庫所蔵資料全目録のデータベース化、藤原道長など藤原氏(近衛家)歴代関白の日記を中心とする「近衛家記録十五函文書」等、陽明文庫所蔵の国宝・重文を含む貴重資料のデジタル化と画像公開の準備に取り組むと共に、2011年1月・2月と2012年1月・2月には、各大学の学生のみならず市民の皆様にも公開した形での「陽明文庫講座」を9講にわたり実施し、本研究および同文庫を社会的に広くご紹介して参りました。また、2012年度には、2016年度までの予定で、科学研究費補助金(基盤研究(S))「日本目録学の基盤確立と古典学研究支援ツールの拡充—天皇家・公家文庫を中心に—」が採択され、学術創成研究プロジェクトを継承し、陽明文庫収蔵近衛家伝来資料の目録学的研究と画像公開の促進に加え、第3回「陽明文庫講座」を開講(6講)し、好評を博しました。

今年度は、陽明文庫所蔵「御堂関白記」がユネスコの世界の記憶遺産に正式に登録されるという記念すべき年ですが、引き続き第4回「陽明文庫講座」(7講)を実施させていただきます。

アクセス



立命館大学 朱雀キャンパスホール

- JR・地下鉄東西線二条駅、下車すぐ
- 京都市バス・JRバス 「千本三条・朱雀立命館前」下車
- 阪急電車大宮駅、徒歩約10分

※駐車場、駐輪場がありませんので、自動車・バイク・自転車での来場はできません。公共交通機関を利用して、ご来場ください。

お申し込み方法

FAX、メール、ハガキにて承ります。本紙を応募用紙としてFAX送信頂くか、下記の内容をご記入の上、メールまたはハガキでお申し込みください。

※専用フォームからもお申し込み頂けます。(一部対応しない機種があります)
<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>

専用フォームご利用の方は、複数名でのお申し込みの場合、追加の参加者氏名を備考欄にご入力ください。

※お申し込み受付後に参加票をお送りいたしますので、講演会当日にご持参ください。定員になり次第締め切りとなりますので、お早めにお申し込みください。

※講座開催3日前になっても参加票が届かない場合は、お電話にてご連絡を頂けますようお願いいたします。

専用フォーム



受講お申し込み

FAX応募用紙

FAX 03-5841-5956

▼希望する受講日該当欄に○印をつけてください。

2013年 9月21日(土)	「陽明文庫所蔵『枕草子』と『御堂関白記』」 「陽明文庫所蔵の宸翰について」	2013年 10月6日(日)	「『御堂関白記』が世界記憶遺産に登録された意義」 「陽明文庫所蔵の断簡から」
2013年 11月17日(日)	「陽明文庫所蔵『摂関家旧記目録』の筆者は藤原忠実か」 「古代歌謡と和琴のお話—陽明文庫所蔵『琴歌譜』との縁—」 「近衛家伝襲の古代音楽資料について」	全3回を受講する	

フリガナ 代表者名	参加人数	名
ご住所 〒	※6名様以上でお申込の場合は、事務局へご連絡下さい	
TEL/携帯	参加者氏名(代表者以外)	
E-mail	○氏名	
	○氏名	
	○氏名	
	○氏名	

※メールの方は上記内容をご記入の上、お申し込みください。 youmei@hi.u-tokyo.ac.jp

※メールでお申し込みを頂いた方には、受付完了のお知らせをメール送信いたします。携帯電話でお申込み頂いた方は、受信拒否設定の解除、PCメールの受信許可の設定等ご対応をお願いいたします。

※応募時にご記入を頂いた個人情報は、本講座に関するご連絡、各種連絡の目的にのみ使用いたします。